環境

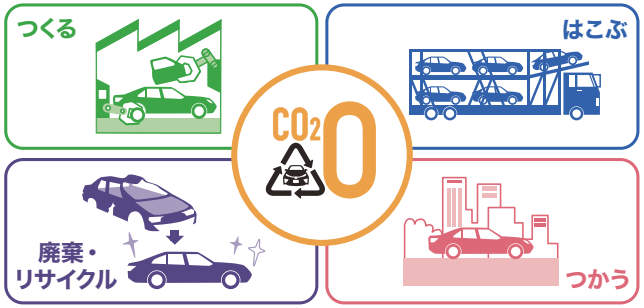
TOYOTA ENVIRONMENTAL CHALLENGE 2050



トヨタは、気候変動、水不足、資源枯渇、生物多様性の損失など、地球環境の問題に対し、これまでも広く取り組んできました。
今後も環境への取り組みを通じて、SDGsの実現に貢献します。
(https://global.toyota/jp/sustainability/esg/environmental-policy/)

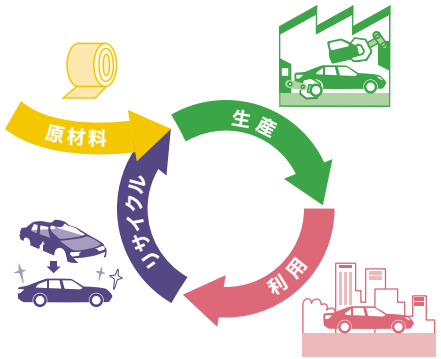
■ カーボンニュートラルの実現

トヨタは、「カーボンニュートラル」の実現のために、「つくる」「はこぶ」「つかう」「廃棄・リサイクル」など、クルマの一生を通して、CO_2排出量を削減する取り組みを進めます。



■ 究極の循環型社会をめざして

トヨタでは、廃棄物を減らし、再利用可能なものは繰り返し使用し、さらに廃棄物を再び資源化します。



■ 人と自然が共生するために

トヨタは、水使用による環境負荷を小さくするとともに、生物の多様性を取り戻すために、自然保全活動の輪を地域・世界とつなぎ、そして未来へつなぐ活動を進めます。



トヨタ ピクシス バン 環境仕様

車両型式			3BD-S700M	3BD-S700M	3BD-S700M	5BD-S700M	3BD-S710M	3BD-S710M	3BD-S710M	5BD-S710M
車両重量		kg	950	910～930	880～900	910	990	950～970	930～940	950
車CO_2排出量*1	WLTCモード	g/km	150	140	150	140	150	140	150	140
	JC08モード	g/km	–			113	–			114
排出ガス	認定レベルまたは適合規制(国土交通省)		平成30年基準排出ガス基準適合*2			平成30年基準排出ガス50%低減レベル*2	平成30年基準排出ガス基準適合*2			平成30年基準排出ガス50%低減レベル*2
	認定レベル値または適合規制値 CO/NMHC/NOx/PM	g/km	4.02/0.100/0.050/—			4.02/0.050/0.025/—	4.02/0.100/0.050/—			4.02/0.050/0.025/—
車外騒音	規制区分		H28年騒音規制 N1A3G							
	加速(規制値)/定常/近接	db	71/—/77		71/—/78	71/—/77	71/—/77		71/—/78	71/—/77
冷媒の種類(GWP値*3)／使用量			HFC-134a(1430*4)／325							
環境負荷物質削減	鉛		自工会2006年自主目標達成(1996年比1/10以下*5)							
	水銀		自工会自主目標達成(2005年1月以降使用禁止*6)							
	カドミウム		自工会自主目標達成(2007年1月以降使用禁止)							
	六価クロム		自工会自主目標達成(2008年1月以降使用禁止)							
車室内VOC*7			自工会目標達成(厚生労働省室内濃度指針値以下)							
環境負荷物質使用状況等	鉛		電子基板・電子部品のはんだ、圧電素子に使用							
リサイクル関係	リサイクル易い材料を使用した部品		インストルメントパネル、ピラーガーニッシュ、ドアトリム、フロント・リヤバンパーなど							
	リサイクル材の使用		フェンダーエクステンション、ルーフヘッドライニングパッドなど							
	樹脂、ゴム部品への材料表示		あり							

*1. 燃料消費率は「主要諸元表」をご覧ください。 *2. WLTCモード走行 *3. GWP:Global Warming Potential(地球温暖化係数) *4. フロン法において、カーエアコン冷媒は、2029年度以降、環境影響度を製造者等ごとに出荷台数で加重平均した値が目標値150を上回らないことが求められております。 *5. 1996年乗用車の業界平均1,850g(リサイクル回収ルートが確立されているため鉛バッテリーを除く)。 *6. ナビゲーション等の液晶ディスプレイ、コンビネーションメーター、ディスチャージヘッドランプ、室内蛍光灯(交通安全上必須な部品の極微量使用を除外)。 *7. VOC:Volatile Organic Compounds

環境

TOYOTA ENVIRONMENTAL CHALLENGE 2050



トヨタは、気候変動、水不足、資源枯渇、生物多様性の損失など、地球環境の問題に対し、これまでも広く取り組んできました。今後も環境への取り組みを通じて、SDGsの実現に貢献します。

(https://global.toyota/jp/sustainability/esg/environmental-policy/)

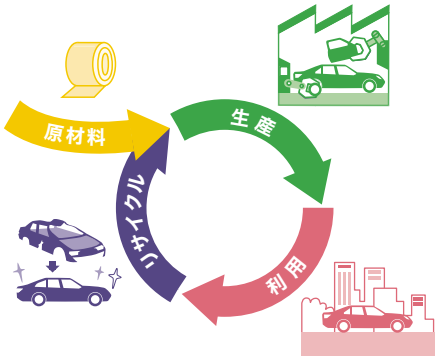
■ カーボンニュートラルの実現

トヨタは、「カーボンニュートラル」の実現のために、「つくる」「はこぶ」「つかう」「廃棄・リサイクル」など、クルマの一生を通して、CO_2排出量を削減する取り組みを進めます。



■ 究極の循環型社会をめざして

トヨタでは、廃棄物を減らし、再利用可能なものは繰り返し使用し、さらに廃棄物を再び資源化します。



■ 人と自然が共生するために

トヨタは、水使用による環境負荷を小さくするとともに、生物の多様性を取り戻すために、自然保全活動の輪を地域・世界とつなぎ、そして未来へつなぐ活動を進めます。



トヨタ ピクシス バン(電気自動車) 環境仕様

車両型式		ZAB-S781M
CO_2排出量 WLTCモード	g/km	排出ガス規制の適用を受けない自動車
排出ガス	適合排出ガス規制	
車外騒音	規制区分	平成28年騒音規制N1A3A
	加速(規制値)／定常／近接 db	69／ー／ー
冷媒の種類(GWP値*1)／使用量	g	HFC-134a(1430*2)／325
環境負荷物質削減	鉛	自工会2006年自主目標達成(1996年比1/10以下*3)
	水銀	自工会自主目標達成(2005年1月以降使用禁止*4)
	カドミウム	自工会自主目標達成(2007年1月以降使用禁止)
	六価クロム	自工会自主目標達成(2008年1月以降使用禁止)
車室内VOC*5		自工会目標達成(厚生労働省室内濃度指針値以下)
リサイクル関係	リサイクルし易い材料を使用した部品	インストルメントパネル、ピラーガーニッシュ、ドアトリム、フロント・リヤバンパーなど
	樹脂、ゴム部品への材料表示	あり
	リサイクル材の使用	ルーフヘッドライニングパッド

*1. GWP:Global Warming Potential(地球温暖化係数)
*2. フロン法において、カーエアコン冷媒は、2029年度以降、環境影響度を製造者等ごとに出荷台数で加重平均した値が目標値150を上回らないことが求められております。
*3. 1996年乗用車の業界平均1,850g(リサイクル回収ルートが確立されているため鉛バッテリーを除く)
*4. ナビゲーション等の液晶ディスプレイ、コンビネーションメーター、ディスチャージヘッドランプ、室内蛍光灯(交通安全上必須な部品の極微量使用を除外)
*5. VOC:Volatile Organic Compounds